

|             |                               |
|-------------|-------------------------------|
| 学校教育目標      | はつらつとして、伸びる子、強い子、優しい子の育成      |
| 育成を目指す資質・能力 | 自分の考えをもち、伝え合うことでさらに考えを深める力の育成 |

|         | 学力状況について  | 学習状況について   |
|---------|---|--|
| 児童生徒の課題 | <b>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b><br>・各学年の単元末テスト正答率60%以下は、1年生国算ともに2%、2年生国算ともに0%、3年生国算ともに0%、4年生国1.9%、算7.4%、5年生国6.8%、算10.5%、6年生国算ともに0%であった。教科でいうと算数に課題がある。  | <b>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b><br>県学力調査、全国学力調査の結果から、全体的には高い正答率であったが、個別にみると、学力の定着に個人差が見受けられる。また、問題文と選択肢の関連の読み取り等、問題文を正しく解釈できていないための誤答があった。 |
|         | <b>これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)</b><br>1学期の振り返りから、授業中、自分の考えをノートに書くことができた児童90%、自分の考えを進んで発表(友達に伝える)している児童77%、友達と話し合うことでよりよい考えをもつことができた児童89%であった。自分の考えをもつても、それを友達や学級全体に伝えないままの児童がいる。多くの児童が自分の考えをもつことができているのに対し、それを伝えたり発表したりする児童が減ることに課題がある。しかし友達と話すことの意義は感じている様子が伺える。  |  |
| 指導の状況   | <b>1 組織的な授業改善の取組状況</b><br>○教職員アンケート「自分の考えを伝え合う場を設定し、考えを深める授業展開を1日1回以上行っている」85%であった。考えをもち、伝え合う場を設定をした授業展開を行うことを意識してきた。知識・理解など基礎的な学力は定着してきているが、「自分の考えを進んで発表(友達に伝える)している」など、発展的な思考・判断・表現の定着にはまだ至っていない。<br><br><b>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</b><br>○教職員アンケート「家庭学習の習慣化を図っている」100%<br>○教職員アンケート「学習規律を守らせて、授業に取り組んでいる」100%<br>考えをもち、伝え合う場を設定をした授業を展開するには、学習規律を守らせることが必要不可欠であることが明らかであるため、月末に学習規律アンケートを実施して、教職員の共通理解のもと日々の授業を行っている。 |  |

学力に関する達成指標

- 自分の考えを広げたり深めたりする授業を1日1回以上する。
- 単元末テストの正答率の向上に向け、正答率60%以下の児童を5%以下にする。
- すすんで本を読んでいる児童90%以上にする。(年間図書貸し出し冊数 低学年:100冊 中学年:70冊 高学年:55冊)

